

皆で感染症を考えよう

趣旨

感染症は誰もが罹りうる疾患です。そして今なお感染症は、人類の健康にとって大きな脅威です。本講座では、最先端の研究から、その成果が患者さんに応用される臨床現場まで、感染症の幅広い局面をご紹介します。

講座コーディネーター

新潟大学医学部 呼吸器・感染症内科 教授 菊地 利明

新潟大学医学部 細菌学 教授 松本 壮吉

土曜日 午前 10 時～正午

プログラム・講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/5	公開 肺炎や結核の診療の実際	感染症として最も頻度の多い肺炎や結核について、その病態や診療の実際を、抗菌薬の使い方を含めて学びます。	新潟大学医学部 呼吸器・感染症内科 教授 菊地 利明 オンライン
2	6/26	新型コロナウイルスの発症機構、治療およびワクチン	新型コロナウイルスの特徴、感染症の病態、治療薬、予防法、ワクチンについて学びます。	新潟大学医学部 ウイルス学 教授 藤井 雅寛 オンライン
3	7/3	日本で問題となっている寄生虫の話	日本で問題となっている寄生虫症とその対策や予防・治療法の開発に関する日本発の取り組みについて学びます。	東京大学医学部 教授 野崎 智義 オンライン
4	7/10	熱帯感染症とヒトの感受性	デング熱、マラリアなど熱帯感染症について、現状と対策研究について学びます。	長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授 平山 謙二 オンライン
5	7/17	HIV 感染症 ー治療の進歩と今後の課題	HIV 感染症がどのような病気か、またどのように治療しているのか、さらに診療上の問題点は何か？を学びます。	東京慈恵会医科大学附属柏病院 教授 塚田 弘樹 オンライン
6	7/31	毒を産生する細菌と感染症	細菌毒素がどのように病気をおこすのかについて、学びます。	大阪大学 微生物病研究所 教授 堀口 安彦 オンライン
7	8/28	誤嚥性肺炎を考える ～最後まで口から食べるを目指して～	日本人の死亡原因の2.7%は誤嚥性肺炎です。高齢化社会のひとつの問題として取り上げられている誤嚥について理解を深めます。	新潟大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科 助教 馬場 洋徳 オンライン
8	9/4	麻疹や風疹などの小児ウイルス性疾患	麻疹と風疹を中心に、小児のウイルス性疾患について、予防も含めた対策を学びます。	新潟大学医学部 小児科 助教 相澤 悠太 オンライン
9	9/18	外国生まれ結核患者の増加とアジアの結核	ベトナム結核コホート研究を通じて、わが国に侵入するアジアの結核の特徴と対応策について学びます。	結核研究所 副所長 慶長 直人 オンライン
10	9/25	結核菌の生き方	感染症史上最も人類の命を奪った病原体（結核菌）から生き抜くくみを学びます。	新潟大学医学部 細菌学 教授 松本 壮吉 オンライン

オンライン : 講師が遠隔地から講義を行う予定の回です(変更の場合有り)。会場受講の方は会場でスクリーンに映る講師をご覧いただけます。自宅受講の方も募集します。

【広告】

公益財団法人 新潟医学振興会

新潟県を中心とした地域社会へ良質な医療を安定的に供給することを目的に、医学・医療の振興に必要な教育・研究に対する助成、医学生に対する修学資金の貸与、臨床研修医への奨学金の支給等の事業を行っております。

- ◆対象 新潟市に在住・在勤・在学の方
- ◆定員 会場受講 75 名、自宅受講 10 名
(応募多数の場合は抽選)
- ◆受講料 10,000 円(29 才以下の学生は 5,000 円)
- ◆会場 新潟市生涯学習センター(クロスパルにいがた)
- ◆申込方法 裏面の「受講申込書」でにいがた市民大学事務局までファクスなどでお申し込みください。
ホームページ、スマートフォンからもお申し込みできます。 ➡
- ◆申込締切 **令和3年5月17日(月)必着**

にいがた市民大学事務局 (新潟市生涯学習センター)

〒951-8055 新潟市中央区礎町通 3ノ町 2086 番地
クロスパルにいがた
電話：025-224-2088
FAX：025-223-4572

ホームページ： [にいがた市民大学](#) で検索

スマートフォン：右の二次元バーコードを読み込むと申し込み画面につながります。



にいがた市民大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています